



2018.6.12
第166号

発行

村会会会会
町議支支支
市協津支支
県委協麻沼
島育絡会麻沼
福教連北耶両

編集

福島県教育庁
会津教育事務所

編集協力

小・中学校長会

朝の風景から



会津教育事務所
所長 近藤 静雄

毎朝、合同庁舎近くの交差点で、会津教育事務所の職員が黄色い交通安全旗を手に、交通安全運動を行っています。東日本大震災の後から実施しているということなので、今年で七年目に突入したということになります。当番を決めるわけでもなく、強制しているわけでもなく、気がついた者が自主的に取り組んでいるようです。ただでさえ勤務であるのに、わざわざ早朝に出勤し交通安全運動を行ってくださっている姿に、頭が下がるとともに感謝の気持ちで胸がい

っぱいになりました。(手前味噌で申し訳ありません。)
ある朝、旗を振っている職員に声をかけましたら、「子どもたちよりも、大人の方がマナーが悪いですね。」と言っておりました。確かに近年、マナーの悪い大人を目にすることが多くなつたような気がします。信号が赤であっても無理矢理進んでくる車、ゴミのポイ捨て、身勝手な判断によるクレーム等々…。海外では、きちんと列になって並ぶ日本人の姿が、国民性の素晴らしさとして、たびたびメ

ディア等で取り上げられております。しかし、老若男女を問わず、マナーが悪い人が増えてきたと感じるのは、私だけではないと思います。

なぜマナーが悪くなってきたのかを考えてみますと、価値観の多様化や、地域コミュニティの弱体化、家族状況の変化など、様々な要因があると思います。しかし、学校教育に携わる私たちにも、責任の一端があるのではないでしょうか。

「特別の教科 道徳」は、小学校が今年度から、中学校が次年度から全面实施となります。先生方の中で、やらされ感満載の方はいらっしゃらないとは思いますが、道徳教育の在り方を見直す良いきっかけとして、前向きに取り組んでみませんか。未来の日本をより良くするために。

管理関係重点事項

『会津教育事務所 経営・運営ビジョン』に示したとおり、「豊かな教育環境の形成」を目標とし、主に四つの視点を重点事項として掲げました。

- 透明性が高い、開かれた教育の推進
- 教職員が子どもと向き合える環境の整備
- 教職員の資質の向上
- 安全で安心できる学習環境の整備

これらの目標や重点事項の達成には、各学校が自校の現状と課題を踏まえたうえで、今後の方向性を見据え、学校組織の充実、教育活動の活性化を図ることが重要です。そこで、管理業務においては、次の事項を重視し取組を進めます。

- 透明性が高い、開かれた教育の推進
所長・管理訪問や会議等を通じて、市町村教育委員会をはじめ各学校との連携を密にし、人事管理や人事事務の適正化に努めてまいります。
- 教職員が子どもと向き合える環境の整備
教職員の勤務の適正化と負担軽減及び多忙化解消が問題視されていることから、『教職員多忙化解消アクションプラン』の活用を進め、改善に努めてまいります。
- 教職員の資質の向上
教職員の意欲や資質、実践的指導力の一層の向上のために、各種派遣への積極的な働きかけを促すとともに、人事評価の効果的な実施を進めます。
- 安全で安心できる学習環境の整備
教育活動を停滞させる学校事故や不祥事を未然に防止するため、各種研修会のあり方を工夫するとともに、先進的な事例を紹介してまいります。

社会教育関係重点事項



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

【重点1】子どもたちの豊かな心をはぐくみます

- (1) 『子どもがふみだす ふくしま復興体験応援事業』
子どもたちが主体的に復興に寄与する社会体験活動に取り組むことを通して、新生ふくしまを担うたくましい子どもの育成を図る。
- (2) 『ふくしまの未来をひらく読書の力 プロジェクト』
県全体の読書活動について検討する場や中高生の情報能力を県内外に発信する場を設定することにより、より良い読書環境作りを進めていく。
- ア 読書活動支援者育成事業
- 地区別研修会（会津域内において2回開催）
 - ※ 読書ボランティア、学校司書等の人材育成と資質の向上
 - イ 子ども読書活動推進ネットワークフォーラム（9月実施予定）
 - ウ 情報発信プロジェクト（中、高校生によるビブリオバトル）
 - ※ 今年度、浜・中・会津地区で予選会を開催。

【重点2】地域全体で子どもたちを教える取組を支援します

- (1) 『地域学校協働本部事業』
- ア 地域学校協働活動事業（県内8つの中学校区で実施）
学校と地域住民等との連携協力体制づくりを促進する
- イ 放課後子ども教室事業（10市町村で実施）
地域住民の参画を得て放課後等の活動拠点をつくる。
- ウ 学校支援事業（5市町村で実施）
地域コミュニティの活性化と地域社会全体の教育力向上を図る。
- エ 学校・家庭・地域連携サポート事業
- 学校支援実践研修会（会津域内で1回開催）
 - 放課後子ども教室研修会（会津域内で1回開催）

【重点3】家庭における教育を支援します

- (1) 『地域でつながる家庭教育応援事業』
- ア 「家庭教育応援プロジェクト」
- 地域家庭教育推進会津地区ブロック会議（6月・1月）
地域の課題について、学校、地域、企業等と連携しながら家庭における実践につなげる。
 - 親子の学び応援講座
連Pと連携し、親の学び・家庭での実践活動を支援する。
 - 家庭教育応援企業推進活動
家庭教育の推進に取り組む企業を募集し、企業と連携し、地域の家庭教育を推進する。
 - フォローアップ研修（会津域内で1回開催）
地域の家庭教育支援者の技術の向上に努める。
- イ 「家庭教育応援リーダー育成事業」
- 家庭教育支援者全県研修（7月 実施予定）
- (2) 『ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業』
子どもと大人あるいは子ども同士のペアで、自然・社会体験活動などの共通体験を通して、お互いが感じた思いや願い、震災体験、復興・復旧への思い等を作品にする。
（応募期間：7～9月）

【重点4】自然に親しみ自然を尊重する心をはぐくみます

- (1) 『ふくしまっ子自然体験・交流活動支援事業』
充実した自然体験活動等を行う機会を提供し、子どもたちの豊かな人間性や生きる力の育成を図る。
- ア 小・中学校自然体験・交流活動等支援事業
- イ 社会教育団体自然体験活動支援事業
- ウ ふくしまっ子体験活動応援補助事業

平成30年度の指導関係の重点

指導関係については、以下の1～4を最重点項目として幼小中高等学校を支援します。（□は各項目における目標です。各学校の積極的な取組をお願いします。）

1 子どもたちの豊かな心をはぐくむ

- 道徳教育全体計画別葉等を活用した道徳教育の充実
 - 道徳教育全体計画別葉等を活用した共通実践
 - 多様な指導方法の工夫等質的転換を図る授業実践
 - 評価の視点や方法について共通理解を図った実践
- いじめ等の問題行動の未然防止と早期解決、問題行動発生時の的確な対応
 - 学校いじめ防止基本方針の点検・見直しをするとともに、保護者や地域住民への周知のために学校ホームページへ掲載する等により、共に取り組む学校
 - 日常の観察や問題行動等に関わる諸調査による実態把握をする学校
 - 児童生徒の立場に立った積極的な「いじめの認知」をする学校
- 不登校防止や減少・復帰に向けた組織的な取組等の推進
 - 不登校防止や減少・復帰に向けた組織的な取組

2 子どもたちの健やかな体の育成

- 「体力向上」や「運動の習慣化」を図る授業や体育的活動の充実
 - 運動の楽しさを味わわせる授業を工夫する学校
- 「ふくしまっ子食育指針」や「自分手帳」を活用した食育の充実
 - 「ふくしまっ子食育指針」に基づく食育を共通実践する学校
- 「学校における肥満対応ガイドライン」や「自分手帳」を活用した健康教育の推進
 - 肥満防止に向け、家庭と連携しながら具体策を実践する学校

3 子どもたちの生き抜く力を支える「確かな学力」の育成

- 学習の効果の最大化を図るカリキュラム・マネジメントの確立
 - カリキュラム・マネジメントの三つの側面を通して、教育課程に基づき組織的・計画的に教育活動の質の向上に努める学校
 - 学力調査の結果及び「ふくしま活用能力育成シート」等を活用し、学習指導の工夫改善を組織的・継続的に行う学校
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
 - 「授業スタンダード」を基盤として授業改善に取り組む学校
 - 「授業スタンダード」チェックシートや各種指導資料、各種調査データ、会津教育事務所HP資料等を有効に活用した校内研修を実践する学校
- 「確かな学力」の向上を支える基盤づくり
 - 学習・生活習慣を向上させるために幼小中連携による系統的な共通実践をする学校
 - 「家庭学習スタンダード」を活用し、家庭学習の質的改善を図る学校

4 「地域で共に学び、共に生きる教育」の推進

- 全職員の連携・協働による組織的な校内支援体制の充実
 - 校内委員会やケース会議等で具体的な支援策を検討し実践する学校
- 一人一人のニーズに応じた指導や教育相談の充実
 - 専門性や指導力等の向上につながる効果的な校内研修を実施する学校
- 切れ目のない支援の実現に向けた、家庭・地域及び関係機関との連携強化
 - 「個別的教育支援計画」を活用し、家庭や転学・進学先、関係機関と連携を図る学校



「39年前の出会い」

喜多方市教育委員会教育長 大場 健哉

昭和54年の7月半ばから8月にかけて、私は玉川大学のキャンパスで小学校の教員免許状を取得するためのスクーリングの最中이었다。講義を受講する際は自由席であったが、なぜか私の右隣には30代のスーツをバリッと着こなした男性が、左隣には60代後半のおばあさんが決まったように座り、講義を受けている。両隣の二人の存在がどうにも気になるので、現在の仕事や教員免許状を取ろうと思った訳を聞いてみることにした。

30代の男性は、超一流の商社に勤めており、英語とドイツ語を流暢に話す。他国の商社マンや企業人と関わりながら商談をまとめていくのも楽しいとのことであったが、小学校の教師になりたいという夢を捨てきれないでいた。両親に教師になりたいとの思いを伝えたところ大反対を喰らったが、それが引き金となって商社を辞め、小学校教師になることを決めたい。

60代後半のおばあさんは、若かりし頃の夢が小学校の先生になることだった。しかし、そのような思いを抱いた頃は、家も貧しく生きるのに精一杯で、自分の夢は二の次。他のことは考えることもできなかった。今、この年になり、孫もできてようやく生活に余裕も出できた。「今しかない」と思い、玉川大学の通信教育を受け、小学校の教員免許を取ることにした。そして、念願叶えたその免許状を大切に抱え、いつかお墓と一緒に入りたいという。

この二人の話を聞きながら、教員という職業の魅力や凄さに心を打たれ、同時に「教員になる」との自分の意も固まった。

あれから39年・魅力ある学校づくりと教員の育成に少しでも資することができたらと思う。

我がまちからの情報発信

猪苗代町教育委員会

学びの場「亀ヶ城公園」

猪苗代町の中心市街地、その西端に位置する「亀ヶ城公園」は、県指定史跡「猪苗代城跡附鶴峰城跡」に隣接し、文化施設である「町体験交流館（学びいな）」「町図書歴史情報館（和みいな）」とスポーツ施設「町総合体育館（カメリーナ）」を内包する都市公園で、文化・スポーツの拠点、憩いの場として親しまれています。

これらの3施設では、多くの皆様が生涯学習として自らサークル活動を展開し、また講座や教室に参加したり、健康維持や競技力向上のためスポーツに親しんだりするとともに、年間を通して行事やイベントが数多く繰り広げられており、現在施設の利用者だけでも毎年20万人以上に達しています。

山地高冷な気候を有する本町は、四季折々の景色が明瞭で、自然の営みが繰り広げる時間の変化は、私たちの感受性を豊かにし、それぞれが織りなす人生を色鮮やかに照らしてくれます。

現在「亀ヶ城公園」では、万物の命が芽吹く春には、お城の桜が空に舞い、目に鮮やかな緑が大地を覆う夏には、自然散策やじゃぶじゃぶ池での子どもたちの賑わいにあふれ、文化・芸術、スポーツの秋には、城址の見学や国際音楽祭、県高校駅伝などの大型イベントが開催され、冬にはみんなの広場で積雪を利用したクロスカントリースキートの練習コースが設けられ、子どもたちの競技

力向上が図られています。

今後も生涯学習課では、皆様が「磐梯山より高い志と猪苗代湖より広い心」を持ち、子どもから大人まで、広い年齢層の方々が人生のステージにおいて生きがいを感じ、楽しく活動していただける様、皆様の「心と体」の健康の育成に努めると共に、その豊かな人生に寄与できる施設の運用と活用を図ってまいります。

皆様にも、是非この「亀ヶ城公園」を訪れていただき、猪苗代の四季を感じ、歴史と文化に触れていただければ幸いです。



平成30年度 会津教育事務所 経営・運営ビジョン 『躍動！『チームふくしま』』

県

第6次福島県総合教育計画（改定版）

基本理念 “ふくしまの和” で美である、こころ豊かなくまいるい人づくり
基本目標① 知・徳・体のバランスのとれた、こころ豊かなくまいるい人づくり
社会に貢献する自立した人間の育成

- ② 学校、家庭、地域が一体となった教育の実現
- ③ 豊かな教育環境の形成

【重視する観点】 頑張る学校応援プラン
強化戦略（主要施策1） 教員の向上に責任を果たす
（主要施策2） 教員の指導力、学校のチーム力の最大化
（主要施策3） 地域と共にある学校
（主要施策4） ふくしまの未来に向けた創造的復興教育
（主要施策5） 学びのセーフティネットの構築

会津

＜目標＞ 会津の児童生徒の夢や希望の実現に向けて、県教育委員会施策を推進するとともに、各市町村・各学校における教育活動充実のための支援を行う。

- 【方針】
- ① 各市町村教育委員会や学校・関係機関等が抱える課題等を共有し、一工夫に合わせた計画的・継続的な支援に努めます。
 - ② 容器的なデータや情報の提供及び成果に結びつく適切な支援に努めます。
 - ③ 各種事業の適正執行に資するため、域内の教育関係者・関係機関との連携を強化・促進します。

【基本目標①】 知・徳・体のバランスのとれた、社会に貢献する自立した人間の育成

【子どもたちの豊かなこころの育成-1】 主要1.5

- ◎ 道徳教育全体計画別業等を活用した道徳教育の充実
（方策） ・各教科における道徳教育との関連を明確にした別業の作成及び活用についての指導助言
・多様な指導方法の工夫等 授業改善を図る指導助言
・評価の観点や方法についての指導助言
いじめ等の問題行動の未然防止と早期解決、問題行動発生時の的確な対応
（方策） ・学校いじめ防止基本方針を基にした、いじめの防止対策及び問題行動への組織的な対応についての指導助言
- ◎ 不登校防止や減少・復帰に向けた組織的な取組等の推進
（方策） ・不登校対応資料Vol.15「豊かな学校生活のために」の活用
・相談、支援体制の整備と学校訪問等による支援

【地域で共に学び、共に生きる教育】の推進】 主要5

- ◎ 全職員の連携・協働による組織的な校内支援体制の充実
（方策） ・一貫性や系統性のある支援体制づくりに向けた指導助言
- ◎ 一人一人のニーズに応じた指導や教育相談の充実
（方策） ・教員の専門性や指導力、相談技能の向上を図る校内研修等への支援
- ◎ 切れ目のない支援の実現に向けた、家庭・地域及び関係機関との連携強化
（方策） ・S・CやS・S・W・関係機関・特別支援学校のセンター的機能の積極的な活用への推進に向けた指導助言

【基本目標②】 学校、家庭、地域が一体となった教育の実現

【子どもたちの豊かなこころの育成-2】 主要3.4

- ◎ 読書活動の推進
（方策） ・子どもの読書活動支援プログラム2.2の徹底
＜目標＞ □フロンター 評価2.2以上
・乳幼児から思春期に至る適切な読書活動の推進
- ◎ 子どもへの復興体験活動の支援
（方策） ・ふくしま復興体験活動支援事業の推進

【地域における教育への支援】 主要3.5

- ◎ 地域学校協働活動本部事業への支援
（方策） ・地域学校協働活動、学校支援事業
- ◎ 学校、家庭、地域の連携・協働への支援
（方策） ・地域全体で教育活動を支援するコーディネーター向けの研修や防災力向上事業の充実
＜目標＞ □フロンター 評価2.3以上
- ◎ 体験活動、プログラム推進センター事業
（方策） ・市町村センター、学校における体験活動等推進委員会との連携

【基本目標③】 豊かな教育環境の形成

【教職員の資質の向上】 主要2

- ◎ 人事評価の効果的な実施
（方策） ・人事評価を生かした学校経営の充実を図るための指導・助言
- ◎ 危機管理意識の高揚と不祥事の根絶
（方策） ・各種研修会における実践的な研修や少人数グループでの協議等の工夫
・服務倫理委員会の活性化を促す指導助言と効果的な取組の紹介

【安全で安心できる学習環境の整備】 主要5

- ◎ 児童生徒の安全確保と校内安全体制の整備推進
（方策） ・安全管理、安全教育に関する『学校安全計画』や『危機等発生時対応要領』を充実させた学校安全体制の整備促進
・地域や関係団体と連携した地域ぐるみの安全体制の整備促進
・情報モラル教育の充実やSNS対策等から児童生徒を守るための環境整備

【教職員が子どもと向き合える環境の整備】 主要2

- ◎ 教職員の勤務の適正化と負担軽減の推進（多文化解消）
（方策） ・取組事例集1～Ⅲを活用した勤務の適正化の推進
- ◎ 教職員の心身の健康保持
（方策） ・研修会の開催とメンタルヘルスケアの推進

【子どもたちの健やかな体の育成】 主要2.3.5

- ◎ 「体力向上」や「運動の習慣化」を図る授業や体育的活動の充実
（方策） ・児童生徒に運動の楽しさを味わわせ、体力向上を図る体育や保健体育の授業の推進
- ◎ 「ふくしまっ子食育指針」や「自分手帳」を活用した食育の充実
（方策） ・各校の食育全体計画に基づき食育の共通実践に向けた指導
- ◎ 「学校における肥満対応ガイドライン」や「自分手帳」を活用した健康教育の推進
（方策） ・肥満防止に向け家庭と連携した組織的な取組の推進

【国際化の進展に対応できる人づくり】 主要1.4

- ◎ 外国語によるコミュニケーション能力（の素地）の育成
（方策） ・学習到達目標達成やふくしまの「授業スタンダード」を視点とした授業参観及び指導助言
・外国語活動（外国語科）に関する指導力向上研修等の充実

【高度情報化社会を主体的に生きていく力の育成】 主要5

- ◎ 情報活用能力の育成と情報モラル教育の充実
（方策） ・情報教育の推進と工夫に向けた指導助言

【家庭における教育の支援】 主要3.4

- ◎ 地域でつながる家庭教育の応援
（方策） ・家庭教育について保護者が学ぶ機会充実のための支援（親子の学び応援講座、フロンター研修会等）＜目標＞ □フロンター 評価2.3以上
・地域家庭教育推進会議を通じた「家庭における食育の充実」に向けた取組の推進
- ◎ 「ふくしまを十七字で奏でよう」紛れあひ支援事業の推進
（方策） ・HPや広報誌、各種研修会における周知及び啓発 ＜目標＞ □応募総数4,500点以上

【透明性が高い、開かれた教育の推進】 主要2

- ◎ 学校経営能力の向上
（方策） ・校長会議・教頭会議などにおけるより実践的な指導
- ◎ 学校評価の充実
（方策） ・学校評価の適切な実施と効果的な活用の指導

【各種事業に係る適正執行の確保】 主要2

- ◎ 実効的な各種教育活動を支える予算措置
（方策） ・適正な事務執行に資する指導・助言
- ◎ 計画的な予算配分や事務の共同連携、事務指導会、年末調整審査会等を通じた実践的指導